



やけど



すぐに冷やす

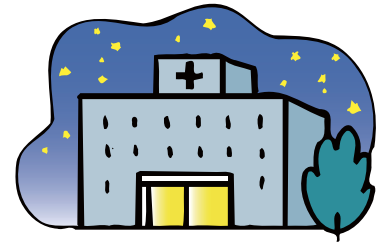
- 皮膚が黒く焦げていたり、白くなっている
- 全身又は広範囲のやけど

救急車



- 水ぶくれ(水泡)ができています
- やけどした範囲が子どもの手のひらよりも広い

救急病院 休日当番医



- やけどした範囲が狭く、赤いだけで水ぶくれになっていない

様子を見ながら通常の診療時間になってから、かかりつけの医療機関に診てもらってください。

ただし 症状が大きく変わったら医療機関を受診しましょう。



※受診の際、お医者さんに伝えること

「やけどの原因は何ですか」

- 熱湯 ● 油 ● ストーブ
- 炊飯器・ポットなどの水蒸気

※やけどの程度

第1度	皮膚の表面が赤くなっている時で、水ぶくれにはならない程度
第2度	水ぶくれ(水泡)ができていような場合
第3度	皮下組織まで達するやけどで、皮が黒く焦げていたり、白くなっているような場合



※家庭でできること

- やけどの程度が第1度または第2度の場合には、出しっぱなしの水道水や冷水でとにかく20分~30分程度冷やしてください。服を脱がせづらいときは、服の上から冷やしても大丈夫です。
- 範囲の広いやけどは氷やぬれたタオルで冷やしたまま、受診してください。
- 水ぶくれ(水泡)が破れないよう注意しましょう。
- 受診するまでは、自分の判断でやけどした場所に何も塗らないようにしましょう。